

## 特別展

## 弘法大師と高野参詣が開催されています

現在、和歌山県立博物館で、秋の特別展「弘法大師と高野参詣」が開催されています（11月1日）。この特別展は、高野山開創一二〇〇年を記念し、高野山に関わる数多くの文化財の展示を通して、改めて高野山の歴史やその魅力を紹介する内容となっています。

展示品の中には、もとは高野山にあったものが、現在は県外に移動している高野山ゆかりの文化財が里帰り展示されているほか、さまざまな弘法大師像が展示されていることも見どころの一つです。

また、高野参詣道沿いの文化財を紹介する展示の後半部分では、有田川町二川の安楽寺に所蔵されている弘法大師像や阿弥陀如来坐像などが展示されています。

安楽寺の弘法大師像は、向かって左前方を向き、右手には密教で使用される五鈷杵（ごこしよ）という道具と左手には数珠を持ち、足元には靴と水を入れる浄瓶（じょうへい）という容器を配置した典型的な図柄です。弘法大師九五〇年回忌にあたる天明四年（一七八四）に、山



保田組（粟生を除く旧清水町）の一九か寺と人々が資金を調達し、高野山の絵仏師であった西岡兵右衛門（へいえもん）

に描かせたものです。

阿弥陀如来坐像は、二川地区の村堂であった阿弥陀堂の本尊で、平安時代後期の作です。寄木造りで、金箔を施しています。丸々とした円満な表情や上品な姿は、今からおおよそ八五〇年前に都で流行した形であり、都の仏師によって制作されたものが当地へもたらされたものと推定されています。指先まで当初の部材が残るなど、保存状態も極めて良く、貴重な文化財です。

この特別展は、わが町の歴史を知る上でも興味深い内容となっておりますので、ぜひともご観覧ください。

